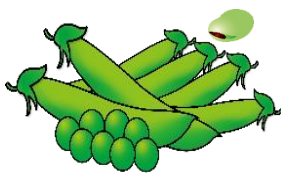




タネの持つ 不思議な ふしぎなパワー

前号で『言葉の持つ 不思議なふしぎなパワー』についてお話ししましたが、今日は『タネの持つ 不思議なふしぎなパワー』のお話です。

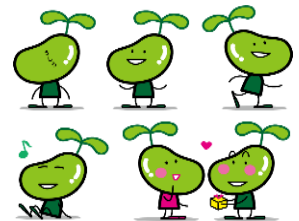


ずいぶん前のことですが、何気なく新聞を開くと、驚くような記事が目にとまりました。それは、古代エジプト王の墓の中から、数種類のタネが出土したというもの。3000年もの時を経ていたので、関係者はもうタネは腐っているか、死んでいるだろうと思っていましたが、実験的にタネを地に蒔いてみると、何とみごとに発芽したということです。

そのタネは「ツタンカーメンのえんどう豆」と名付けられ、今や世界中で販売されているとのこと。記事は続けて「ツタンカーメンのえんどう豆」は普通のえんどう豆とは違い、ご飯に炊き上げて2～3時間すると、白米とともに薄いピンク色に染まるのが特徴だと。それでユメのタネ、ユメご飯とよばれるようになったと。そんなユメみたいなことがあるのだねと、心に残っていました。

それから何年も経ったある日のこと、買い物途中で思いがけず、「ツタンカーメンのえんどう豆」を見つけ、再び興奮したことを今も鮮明に思い出します。

3000年もの間、あのタネは生きていたの？ はい、生きていたのです！
そんなことあるの？ はい、そんなことあるのです！



タネが地に蒔かれるなら、時が来ると実を結ぶ、これがタネの持つDNA。

それにしても3000年とは、気の遠くなるような世界の話で、ちょっとピンと来ませんね。

それでは、現在の私たちに思いを重ねてみましょうか？

あなたや私の心に、誰にも言わずに（言えずに）ずっと閉じ込めているユメのタネはありませんか？
5年前のユメ？ 10年前のユメ？ 全～然OK！ えっ？「〇〇のために、一生懸命がんばったこともあったけど、全～然うまくいかなかった。またやっても、どうせムリに決まっている・・・」ですって？
全～然大丈夫！ あきらめないで、捨てないで。将来のあなたを形造る、大事なユメのタネは死んではいません！ 2022年は、あなたの<ユメの続きの はじまりの年>です。

具体的には

- ① 心の奥深くからユメのタネを取り出す。 ② 取り出したユメを誰かにシェアしはじめる。 ③ ユメの発芽・成長のために必要な水や光（時間、お金、アイデア）をたっぷり注ぐ。 ④ 大切なKEYは、成長過程を誰かに支えてもらうこと、励ましてもらうこと。誰かと一緒に育て続けること！



今年は あなたの<ユメの続きの はじまりの年> 一緒します。 学校カウンセラー 飯塚 由美子